

日薬発第337号
平成27年2月20日

各都道府県教育委員会学校保健主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各指定都市教育委員会学校保健主管課
付属学校を置く各国立大学法人事務局

公益社団法人 日本薬剤師会

「くすり教育研修会」の開催について（お願い）

拝啓 向春の候、時下益々ご健勝の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

平成18年に薬事法が改正され、一般用医薬品の販売制度が大きく変わり、一般用医薬品が国民にとって今まで以上に身近になり、自分自身の健康を判断する力や医薬品の正しい使い方に関する知識を身に付けることは益々大切になると考えられます。

このような状況に鑑み、平成20年及び21年の学習指導要領の改定では、中学校保健体育科に新たに「医薬品」に関する内容が取り上げられ、高等学校保健体育科における「医薬品」に関する内容が充実強化されました。新たな教育内容であり、「医薬品」に関する内容の中には専門性の高いものもあることから、保健体育科教諭や養護教諭等の学校関係者と連携を図り、生徒が「くすりの正しい使い方」等に関する理解を深め、国民の医薬品の適正使用を推進することは、くすりの専門家である薬剤師、特に学校薬剤師に期待されている社会的な役割であると考えています。そのため、薬剤師と学校関係者が学校現場における医薬品の教育の現状と課題を共有してより良い連携のあり方等を模索し、医薬品の教育の充実を図るため、「くすり教育研修会」を26年度も継続し開催することといたしました。（昨年度より開催。）

つきましては、新学期前のご多用な折、誠に恐縮ではありますが、所管の各学校において、保健体育教諭、養護教諭、保健主事等へご周知方等、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

平成 26 年度 くすり教育研修会実施要領

テーマ「学校におけるくすり教育の現状と課題」

(公社) 日本薬剤師会主催、(公財) 日本薬剤師研修センター共催

文部科学省後援(申請中)、厚生労働省後援、

(公財) 日本学校保健会後援、くすりの適正使用協議会後援

1. 目 的

(1) 学習指導要領の周知・徹底に向けた支援体制整備

- 1) 学習指導要領に基づいた中学校・高等学校の保健体育科における医薬品に関する教育並びに特別活動等を活用した保健指導の実施と充実に向けて情報提供を行う。
- 2) 保健体育教諭、保健主事、養護教諭等の学校関係者と学校薬剤師等の医薬品の専門家が医薬品の教育に関する相互理解を深め、協調・協力し医薬品教育の実施と充実に向けた連携の在り方について協議を行う。

(2) 学校保健を巡る最近の話題への対応等

- 1) 教育現場の現状と事例等から学び、学校薬剤師の学校保健活動への寄与の在り方について協議する。
- 2) 薬物乱用防止、薬害等の現代的な課題に関する教育への対応について、専門家等から学び、学校保健活動の推進について協議する。

2. 対 象 保健体育教諭、保健主事、養護教諭、学校薬剤師 等

3. 研修予定

○基調講演(文部科学省担当官)

◎事例報告及びパネルディスカッション

①大学教授、②保健体育教諭、③学校薬剤師

4. 会場及び開催日時

[東京会場] : スクワール麹町 千代田区麹町 6-6 TEL 03-3234-8739

3月12日(木) 研修会 : 13:30~17:00

1. 基調講演
2. 事例報告
3. パネルディスカッション

5. 受講料

研修会参加費：日薬会員、研修センター賛助会員、
・・・・・・・・ 3, 000円（消費税込・テキスト代含）
非会員・・・・・・・・ 4, 000円（消費税込・テキスト代含）
保健体育教諭、保健主事、養護教諭（無料）

6. 問い合わせ先

〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 富士・国保連ビル7階 (公社) 日本薬剤師会 担当事務局 業務部学術業務課 学校薬剤師係 TEL 03-3353-1192 FAX 03-3353-6270 E-mail gyoumu@nichiyaku.or.jp

※受講申込みに係る個人情報、研修会の開催に必要な参加確認、連絡等に使用させていただきます。同研修会以外の目的に利用することはありません。

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度対象研修会(2単位)申請予定です。

7. 受講申し込み先

日本薬剤師会ホームページ：<http://www.nichiyaku.or.jp/kenshu/>

(案)

平成26年度 日本薬剤師会 学校薬剤師部会 くすり教育研修会 プログラム
【学校におけるくすり教育の現状と課題】

主 催：公益社団法人日本薬剤師会
日 時：平成27年3月12日(木) 13:30～17:00
場 所：スクワール麴町 3階「金華」(東京都千代田区麴町6-6)
参加対象：保健体育教諭、保健主事、養護教諭、学校薬剤師

(敬称略)

司 会：日本薬剤師会理事 渡邊 大記

■主催者挨拶 [13:30～13:35] 日本薬剤師会会長 山本 信夫

■基調講演 [13:35～14:25] (講演45分、質疑5分)

「学校におけるくすり教育の現状と課題(仮題)」

文部科学省 スポーツ・青少年局

学校健康教育課 健康教育調査官 北垣 邦彦 氏

■報 告 [14:25～16:05] (各20分)

座 長：兵庫教育大学大学院教授 鬼頭 英明

学校薬剤師部会部会長 村松 章伊

①「中学校におけるくすり教育～添付文書を副教材として～」

東京薬科大学薬学部 教授 加藤 哲太 氏

②「小学生の発達段階別薬育が中学生の医薬品理解と適正使用に与える影響」

慶応義塾大学薬学部 教授 福島 紀子 氏

③「8年の歩み～大阪市内の小学生に対する医薬品適正使用の啓発～」

大阪市学校薬剤師会 副会長 西川 節子 氏

④「栗東市立中学校におけるくすり教育の取り組み」

滋賀県薬剤師会学校薬剤師部会 健康教育ワーキンググループ 岡川 東和子 氏

⑤「学校薬剤師と連携した医薬品教育の現状と課題について～保健体育教諭の取り組み～」

山口県 柳井市立柳井中学校 教諭 宮内 秀一郎 氏

—休憩 [16:05～16:20 (15分)] —

■パネルディスカッション [16:20～17:00 (40分)]

平成25年度 日本薬剤師会 学校薬剤師部会 くすり教育研修会 プログラム 【学校におけるくすり教育の現状と課題】

主催：公益社団法人日本薬剤師会

日時：〔研修会〕平成25年8月2日（金）13:30～17:30

〔情報交換会〕同日 18:00～19:30

場所：都市センターホテル 3階「コスモスホールⅠ」（東京都千代田区平河町2-4-1）

参加対象：保健体育教諭、保健主事、養護教諭、学校薬剤師

（敬称略）

司会：日本薬剤師会常務理事 藤原 英憲

■主催者挨拶 [13:30～13:50]

日本薬剤師会会長 児玉 孝

■基調講演 [13:50～14:50 講演55分、質疑5分]

「これからの学校における医薬品の教育 ～ 期待される学校薬剤師の役割 ～」

文部科学省 スポーツ・青少年局

学校健康教育課 健康教育調査官 北垣 邦彦

—休憩 [14:50～15:00 10分]—

■報告 [15:00～16:30]

座長：兵庫教育大学大学院教授 鬼頭 英明

学校薬剤師部会部会長 村松 章伊

①「中学校学習指導要領による医薬品に関する授業実践」

京都市立九条中学校 保健体育教諭 上田 裕司

②「医薬品の教育に関する養護教諭の役割を考える」

福岡県立門司学園高等学校 養護教諭 香田 由美

③「くすり教育事例報告」

愛知県学校薬剤師会会長 樋口 光司

④「高校生が学ぶ『医薬品の教育』」

兵庫教育大学大学院教授 鬼頭 英明

—休憩 [16:30～16:45 15分]—

■パネルディスカッション [16:45～17:30 45分]

■情報交換会 [17:45～19:15 90分] ロビー階 レストラン「アイリス」

◎参加者数：175名 [内訳：①学校薬剤師 95名、②養護教諭 60名、③保健体育教諭 2名、
④保健主事 1名、⑤保健主任 1名、⑥その他 16名]